

浦安市のヤマメの里親活動

R8. 3月浦安市理科センター

【概要】 浦安市に流れる江戸川は、利根川につながり、利根川の支流、烏川につながっている。そこには、浦安市の水源の森（群馬県高崎市との自然環境活動を中心とした協定が結ばれている地）が広がっている。そこで漁協や高崎市の協力を得て、浦安市で育てたヤマメの稚魚を放流する活動を浦安市内の小中学校で行っている。

【主催】 浦安市理科センター（小、中学校希望校・教育委員会指導課）

【協力】 高崎市立倉渕小学校・上州漁業協同組合・群馬県養鱒漁協組合・高崎市倉渕支所

【内容】 市内小中学校で群馬県養鱒漁協組合から購入したヤマメの発眼卵（受精卵）をふ化させ、3月の放流日まで育てる。

【学校の活動内容】（日の出南小学校の例）

- 1 発眼卵（受精卵）を受け取り、ふ化させる
- 2 ふ化させた稚魚を育てる
- 3 観察を続け、魚の習性や種類を勉強する
- 4 浦安市の江戸川は、群馬県高崎市倉渕につながっていることを知る
- 5 大きくなるとヤマメ（その地域にとどまる魚）といずれサクラマスになる（海に向かう魚）がいることを知る
- 6 ふるさと 群馬県高崎市倉渕 烏川に放流

【水槽や飼育のための器具を用意】



【ふ化に向けた積算温度表示】



【水槽の中の様子をテレビモニターへ】



【観察日記をつける】

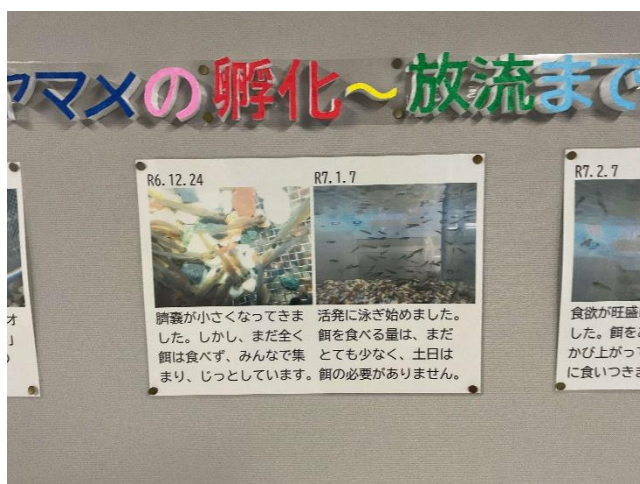


<その他の学校の取組の様子>

○入船小学校・入船中学校

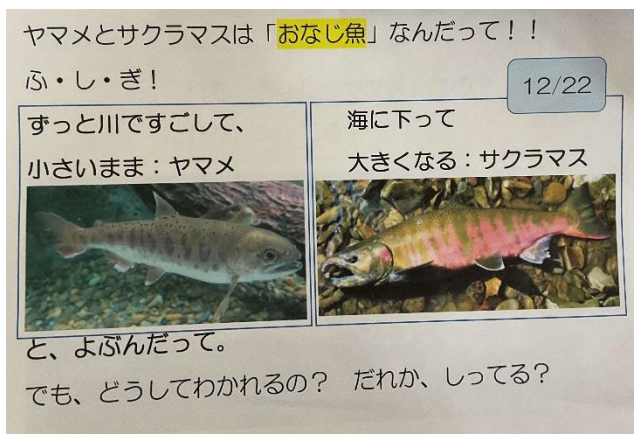
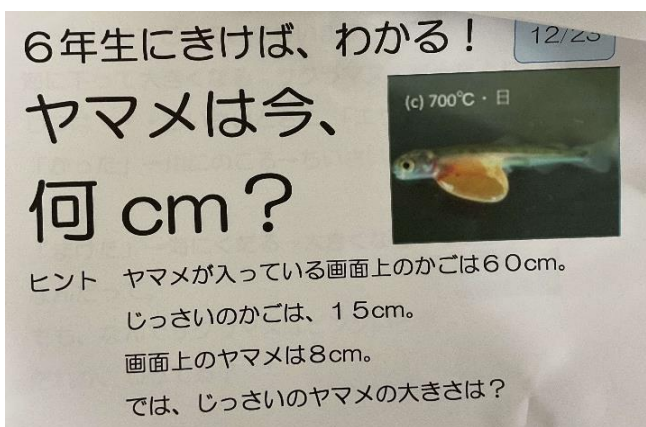
【日当たりが良くなく、涼しい位置に配置】

【ふ化から放流までのイメージをもてる掲示】



○高洲小学校

【「ヤマメ日記」として、児童の興味をひく情報をこまめに更新し掲示】



その他の協力校：北部小学校・見明川小学校・富岡小学校・高洲北小学校・東野小学校
明海中学校・浦安市教育センター

【今後の展望】

- ・各教科と関連を深めた事業の展開 (国語、社会、理科、総合的な学習の時間等)
- ・倉渕との児童を介した交流の活性化 (夏の浦安訪問時の交流、オンライン対応等)